

全体朝礼 挨拶（「難有」と書いて「有難う（ありがとう）」）

皆さん、おはようございます。

1月2月は、冷え込みの激しい時期で、今朝の様に雲無く晴天となると地表の熱が宇宙へ放出される放射冷却によって、グッと寒くなります。日中の気温は上がりそうですが、この時期は、寒い日と暖かい日が繰り返される様子を「三寒四温」といい、徐々に暖かくなります。

この時期はそうやって春を迎えますが、温度差が出てくると、自律神経失調で体調を崩しやすい方も出てくるようです。皆さんも体調管理には、気をつけてください。

さて、この時期になると、梅の花が開花し、自然の美しい白や赤の色合いを見せてくれます。その花は、まだつぼみの頃に雪降る冬の寒さに耐え、じっと力を蓄えた花たちで、一年間で一番美しい時を迎えています。

平安時代の和歌には、実は桜よりこの梅が、春を詠む花として多く使われていました。

今週は、3年生が28日の金曜日に同窓会入会式、来週月曜日3月3日には、卒業式を迎えます。3年生は、多くの経験から、自らが考え、判断し、行動することで、この三年間、できることが増えた喜びと、学びの為の困難を耐え忍んで努力してきたことがあったと思います。

皆さんも知ってのとおり、人は、楽をされていて中身の成長はできません。困難なことから避けていては、実力も考え方も成長できないのです。逆に困難が有るから打開する力をつけて、または考え方捉え方を替えて成長できるのです。「難有」と書いて、「有難う（ありがとう）」というように成長する機会を与えられたと、捉え方によっては感謝すらできるようになるのです。

しかし、3年生の自らが立てた三年間の目標が、道半ばであれ、高校生活は、ここで完結されます。その達成度は、大なり小なりそれぞれ有っても、人生の学びが終わったわけではありません。社会に出てからの経験で、高校生活では見られなかった急成長をする3年生もいることと思います。

そんな3年生を私は、学校行事や部活動などで、引っ張ってってくれたことに対して、皆さんと一緒に感謝を込めて送り出せたらと思っています。

また、在校生である皆さんも、先輩から引き継いだ隼工を、3年生や卒業した同窓生が、「あの制服を着た隼工生は自分たちの後輩だ」と誇りに思う、自慢に思う隼工にしていくことが、延いては自分の進路や将来に繋がっていくことを胸に留めて、先生方と一緒に、学習や部活動、学校行事に校外活動にと頑張っていきましょう。

終わりに、伝統を引き継がれる者として、誇りを胸に、益々隼工が発展していくことを期待して、今朝の挨拶といたします。